

# 4期目の町政に向けて



中嶋 裕史 町長

## 3期を振り返って

小泉政権下においては、地方交付税の削減により、大変厳しい財政運営を強いられました。町民皆様方のご理解のもと、町職員の削減・課の縮小などを行い、苦難を乗り越えることができました。

## 現在の須恵町

須恵町の高齢者（女性）の平均寿命は、全国第9位と長寿の町になりました。

また、人口の増加率も、福岡県で第4位の伸び率となるなど、魅力ある町になりつつあります。

## 今後のまちづくりの柱

- ① 町民の生命・財産を守る安心安全のまちづくり
  - ② 利便性の向上に力を置いたインフラ整備
  - ③ 教育を基盤に据えたまちづくり
  - ④ 超高齢社会への対応
- 以上の4つを柱に、全身全霊を尽くし、4期目の執務に精励したいと思えます。

## 文教厚生委員会

### 包括支援センターの周知を



地域包括支援センター（役場1階）

などの説明を受け、質疑を行いました。

役場内に開設されている地域包括支援センターには、社会福祉士・主任ケアマネージャー・保健師等が配置され、ケアプランの作成や相談を行っています。住民の方々への認知度を高めるため、活動内容を分かりやすく周知していただくよう要望しました。



会議の様子

- 5月29日（木）介護保険制度調査を行いました。健康福祉課および地域包括支援センターの職員より、須恵町における介護保険料の状況
- ▼取り組み（わくわくデイサロン・ミニデイサービス・お元気クラブ・成年後見制度等）
- ▼課題（高齢者増加・認知症・24時間対応の介護サービス実施）

## REPORT

# 委員会レポート

# 心の教育と学力向上



平松 秀一 教育長

## 5年終了期を迎えた基本計画

私が教育長を拝命した平成20年当時は、学校規律の乱れが顕著化し、学校運営に大きな影響を及ぼしていました。

そのような中で、教育施策の大きな柱を「心の教育」として策定した「須恵町教育振興基本計画」が、平成25年度に中期5年終了期を迎えました。

## 取り組みの成果

義務教育終了までの切れ間ない教育支援を目標に取り組んできた中で、特に成果として挙げられるのが、

のが、

- ▼就学前教育における幼児すぐく教育プログラム（論語の素読・鉛筆の持ちかた指導・そろばん指導）による規範意識の高揚
- ▼第一小学校5・6年生が総合的な学習で取り組んだロープジャンプ・和太鼓・よさこい等の活動を通じた自立心・仲間づくりなどの成果による校内活動の正常化
- ▼小学校との連携による、中学校の学習環境改善などです。

## 学力向上

全国学力学習状況調査（小学校）では、過去7年間で最も高い結果を得られるなど、学力向上についても成果がありました。

## 教育委員会の今後の施策

今後も、25年度までに取り組んだ施策を継続し、安心して住める町づくり、教育のための町づくりに邁進していく所存です。

## 総務建設産業委員会

### 自主防災力の強化を

5月20日（火）地域防災対策調査を行いました。柏屋南部消防本部を視察し、防災センターでAED（自動体外式除細動器）を使った人命救助講習を受講、体験ゾーンでは、自然災害体験・消火体験等を行いました。

また、指令センターの見学も行い、一人ひとりが防災に対する意識を高め、自主防災力を向上させることの大切さを実感しました。視察終了後、役場会議室において、防災担当の総務課と意見交換を行いました。須恵町では、中央（役場）・西部（旅石）の防災拠点に加え、今年度、東部（佐谷）に防災センターの整備が計画されています。



人命救助講習の様子

### 目指せ 全国大会！



消防団を激励する委員（健康広場）

6月17日（火）議長と共に、近年恒例になった消防操法大会の激励に行きました。公式練習の2日目でしたが、スムーズな操作が行われていました。消防署の指導日で、団員の皆さんは、やや緊張気味でした。団長および副団長へ、安全、健康と、操作技術の向上をお願いしました。